

平和の大切さを伝えるために

8月6日、広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式が広島市の平和記念公園で行われ、本市から市内公立中学校の生徒代表16人を含む21人の平和使節団が参列し、原爆が投下された午前8時15分に黙とうをささげました。

また、各中学校、地区長連合会、女性団体連絡協議会、青年会議所、市役所に来庁した方々そして市役所職員が、平和への願いを込めて折った千羽鶴約1万5千羽を公園内にある「原爆の子の像」にささげました。

副総務課（☎826・1111 内線2200）

土浦市女性団体連絡協議会



今泉芳子さん

広島には世界中の人たちが鎮魂と平和を願い集まっています。

式典は厳かにすめられ、カーン、カーンと鳴り響く鐘の音は天に届くようでした。折鶴を原爆の子の像に捧げ、平和記念館を訪れました。今回参加して、これまで利便性がかり強調されてきた核の平和利用についても、より真剣に議論されるべきとの想いを強くしました。「過ちはへりかえりません」との誓いを重く受け止め、命の尊さを伝えていきたいと思っています。

土浦青年会議所 飯田正樹さん



一発の原爆が広島に落ちてから66年がたち、私達の生活からは、原爆による惨劇は遠い

国の昔話のように感じていました。しかし、ここ広島の街では、今もなお原爆による多くの惨劇の記録と証言が残っており、原爆により約14万人の尊い命が失われたことを知り、この上ない恐怖を感じました。私は今回の平和使節団で体験した平和の尊さを、原爆の惨劇を一人でも多くの人に伝えていきたいと思っています。

土浦六中 教諭 森井達晴さん



8月6日の広島市の街を肌で感じることで、前日からの準備、当日の平和記念式典、灯ろう流しなど、広島市の街が一体となって平和を発信している様子がよくわかりました。様々な人間模様を目の当たりにすることにより、自分自身の感性も磨くこともできました。また、子どもたちが純粋に学んでいる姿

を見て、私自身がたぐさんの元気をもらいました。最後にこのような機会を与えてくださった市当局へ深く感謝を申し上げます。

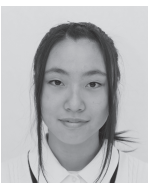
土浦一中 2年 野村祐太さん



僕は土浦市平和使節団に参加し、とても貴重な体験をすることにも、戦争の恐ろしさ、原爆の悲惨さ、平和の尊さを学びました。ここで学んだことを多くの人に伝え、二度と戦争が起きないように、これからも平和の大切さについて考えていこうと思いました。

か？ということですが、66年前の面影はありませんでした。しかし、原爆、ドームや、資料館へ行くと、やはりここは、原爆の被害を受けたのだと痛感しました。また、世界中にはまだ、こんなにあそろしい核を保有している国があるのかと思つと、とても悲しくなりました。一日も早く、世界から核がなくなり、平和な世界になってほしいです。

土浦一中 2年 上村あずささん



私が、広島に到着して最初に思ったことは、本当にここに原子爆弾が落とされたのか？ということですが、66年前の面影はありませんでした。しかし、原爆、ドームや、資料館へ行くと、やはりここは、原爆の被害を受けたのだと痛感しました。また、世界中にはまだ、こんなにあそろしい核を保有している国があるのかと思つと、とても悲しくなりました。一日も早く、世界から核がなくなり、平和な世界になってほしいです。

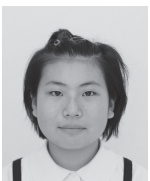
土浦一中 2年 神邊知毅さん



広島で特に感じた事は原子力の恐ろしさや命の尊さです。3月に起きた大震災で福島の問題になっていきます。放射線の恐ろしさを知り、改めて早く収束してほしいと強く感じました。この世から原爆がなくなり、平和な世界にしていかなければならないと思います。

私は、8月5日から7日までの3日間、広島に行ってきました。広島平和記念資料館を見学して、いままで体験したことがないような恐ろしさがありました。たった66年前は資料の中の広島が目の前に広がっていたとは想像もできませんでした。私は、二度と同じ過ちを繰り返さないために、核廃絶に向けての活動にこれからも参加していきたいと思っています。

土浦一中 2年 塚本悠里さん



私は、8月5日から7日までの3日間、広島に行ってきました。広島平和記念資料館を見学して、いままで体験したことがないような恐ろしさがありました。たった66年前は資料の中の広島が目の前に広がっていたとは想像もできませんでした。私は、二度と同じ過ちを繰り返さないために、核廃絶に向けての活動にこれからも参加していきたいと思っています。

土浦二中 3年 伏野 淳さん



原爆が落とされて66年という月日がたちました。原爆はいつたい何を生み出したでしょう。いまだ、原爆症や大切な家族、友人をなくして辛い思いをしている人がたくさんいます。もう二度と『終わらない戦争』を引き起こす原爆を使つてはなりません。強く願います。

原爆が落とされて66年という月日がたちました。原爆はいつたい何を生み出したでしょう。いまだ、原爆症や大切な家族、友人をなくして辛い思いをしている人がたくさんいます。もう二度と『終わらない戦争』を引き起こす原爆を使つてはなりません。強く願います。

土浦二中 3年 荒井奈都子さん



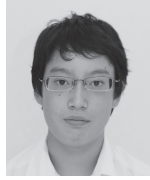
広島の方々も、今年3月の東日本大震災にあわれた方々も、前日まであったいつも通りの暮らしが、核という人類のつくったものに壊されてしまいました。今の広島は、花や木がたくさんありとてもきれいでした。震災で壊されてしまった街にも、必ず未来があります。広島では、被爆されながらも、街を復興させ、平和を訴えている方々がいます。私たちはその体験や平和への想いを学び、伝えていくことが大切だと思います。

土浦五中 2年 羽成智紀さん



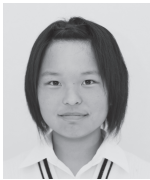
僕は、8月5日から7日までの3日間広島へ平和使節団として行き、いろいろな体験をしました。原爆ドームには予想以上の物が展示されていて、とてもひどく、ショックを受けるような物もありました。核兵器の恐ろしさなど、たくさん犠牲者の病状などいろいろなことを学びました。核兵器の恐ろしさを世界中の国に知ってもらいたいと思います。来年の参加者になったら学んできてほしいです。

土浦四中 2年 遠藤 航さん



僕は、この平和使節団で広島に行きました。そこには目をそむけなくなるような、無残な人や町、そしてそこから立ち上がり、復興した広島がありました。そのことを一人でも多くの人に伝えていかなければならないと思いました。

土浦五中 2年 弘地綾乃さん



私は、今回平和式典に参加し、去年とは違った8月6日を過ごしました。私達が『広島から学ぶべき所は沢山あるのだと思います。世の中が便利になってきた今だからこそ、『自分達がどれだけ恵まれているか』、そして『今何をすべきか』。考え直してみてもいいでしょうか？

土浦四中 2年 外木花穂さん



原爆ドームは当時のままの姿で原爆の恐ろしさを物語っています。その周りには、「脱原爆」を叫ぶ人がたくさんいました。その人たちからは「もう放射線で苦しむ人が出てはならない」という思いが強く伝わってきました。私はその光景を見て、広島は核廃絶を世界の先頭に立って訴えているのだと感じました。

土浦六中 2年 笹島 渉さん



僕は、8月5日から7日までの3日間広島に行き、貴重な体験をしました。広島に着くとまず目に入ったのは、街の人たちのにぎわいです。とてもこの広島に66年前に原爆が投下されたとは思いませんでした。広島に行っ

思ったことは、平和の大切さです。みんなが一つになり、幸せな生活を送ることが平和だとつくづく思いました。最後に僕は、この3日間で学んだことを多くの人に伝え、平和な町をつくりたいと思います。

土浦六中 2年 栗城佑衣さん



私は、平和使節団として広島へ行き、たくさんすばらしい体験ができました。戦争についてのたくさん資料や建物を見て、原爆の恐ろしさ、平和の大切さを改めて感じる事ができました。一日でも早くこの世界から核や戦争がなくなり、平和になってほしいです。

都和中 2年 樋熊健太さん



広島平和記念式典には、海外からの参加者も多く、原爆にたくさんの人々が関心を持つことは、大事なことだと思います。そして、改めて命の大切さ、平和の大切さに気づくことができました。今回、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

都和中 2年 田中英利奈さん



私は、8月5日から7日までの3日間、平和使節団として広島に行きました。原爆ドームは実際に自分の目でみると、核の威力や恐ろしさがよく伝わってきました。

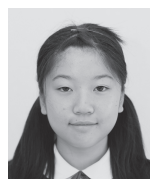
今回とても貴重な体験をさせて頂きました。この体験を沢山のの人に伝えていきたいと思っています。

新治中 1年 藤田侑樹さん



広島は、とてもきれいな街でした。過去に原爆が落とされたという面影は、全くありませんでした。しかし、原爆ドームの姿は、原爆の恐ろしさを物語っています。何不自由なく育ち、暮らしている自分達や戦争を知らない人達にとって世界の平和を願う事が大切だと思います。

新治中 1年 柳澤綾乃さん



この3日間を通して、平和のありがたさ、放射線の恐ろしさを実感しました。66年前に原爆で命を奪われた人、今でも被爆に苦しみ亡くなっていく人、震災による放射線に苦しむ福島の人、全て原子力によるものです。平和づくりを真剣に考えることが重要だと思います。

(原文のまま)

